

安全・安心な学校づくりに向けて

6月後半、例年になく早いペースで台風が発生し、各地で大雨による被害を引き起こしていました。また同時期に東北では、大規模な地震が発生し、大きな被害が出ました。東京の小学校では、大規模な火災が発生しました。

7月3日（金）の参観日に、不審者対応避難訓練を行いました。本校では、4月に災害時等を想定した保護者引き渡し訓練、5月に火災避難訓練を実施しており、今後12月にも防災訓練を予定しています。これらの訓練をとおして、教職員一人ひとりが、避難が必要な状況時に、冷静に、そして、児童生徒の命を守ることを優先した行動がとれるようにならなければいけないと考えています。

また、避難訓練だけでなく、日常の学校生活においても、児童生徒のけが等を未然に防ぐ取組が求められています。本校では、今年度、日常的に起こる、いわゆる「ヒヤリハット事案」を報告、共有することで、教職員間で危機管理に関する意識を高めていく取組を行っています。7月15日に予定している第2回学校運営協議会においても、防災に関するマイタイムラインの作成について熟議を行うことを予定しており、地域や行政、保護者の皆様の協力を得ながら、より安全・安心な学校づくりを進めていきたいと思ひます。

ヒヤリハット事案については、ぜひ保護者の皆様からも、「学校内のここが危ない」、「こどもたちのこのような行動がけがにつながりそうだった」など、お気づきをお寄せいただき、ともに安全・安心な学校づくりに取り組むことができればと思ひております。ぜひとも、ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 森下 成樹



7月の主な行事予定

1日	(水)	校内研修会	14日	(火)	SC相談⑥いじめ対策委員会
2日	(木)	個人懇談会①(希望者)			GHP(高) プール学習(中・高)
		個人懇談会②(希望者)	15日	(水)	第2回学校運営協議会 13:30~
3日	(金)	参観日 避難訓練	16日	(木)	ヤマミィるーむ④ 参加実習
		国際理解教育(ラオス)			精神科検診④
		3・4校時	17日	(金)	大掃除 給食終了
6日	(月)	個人懇談会③(希望者)	18日	(土)	くすの木会総会
7日	(火)	第2回学校見学説明会	21日	(火)	振替休日 夏季休業開始
8日	(水)	専門部③	27日	(月)	高等部オープンキャンパス
9日	(木)	ヤマミィるーむ③	28日	(火)	夏季公開研修会
		プール学習(小・高)	30日	(木)	きらめき検定(清掃)
10日	(金)	なごみカフェ			
13日	(月)	参加実習			





高等部 前期現場実習（6月11日～24日）



6月11日から24日までの期間、高等部では実習を行いました。2・3年生は、企業や福祉作業所での「現場実習」に臨み、実体験を通して社会で必要な知識や態度を学びました。1年生は、校内の芙蓉館で「農耕・縫製・工芸・製菓」の作業を体験し、将来の就労生活の基礎となる力を身に付けるために、熱心に取り組みました。実習を終えた生徒たちの表情からは、自ら立てた目標を達成できたという「自信」が満ちあふれていました。「学んだことをこれからの学校生活に生かしたい」という新たな決意を胸に、一回り大きく成長した子どもたちを、今後も応援していきたいと思えます。ご協力いただいた企業・福祉作業所の皆さま、温かいご指導を誠にありがとうございました。

本校では、子どもたちが将来の自立や社会参加に向けて必要な力を培うため、キャリア教育を大切にしています。小学部・中学部でも、それぞれの目標に合わせた進路学習に取り組みました。

中学部 進路学習週間（6月22日～26日）

まずは高等部の「ふよう作業所」を見学し、先輩たちの働く姿に刺激を受けるところから始まりました。期間中は、農園作業や軽作業（廊下・会議室の清掃）に、一人ひとりが責任感をもって黙々と取り組みました。さらに、山大業務支援室への訪問では、実際の業務を肌で感じる貴重な機会をいただきました。タオルの丁寧なたたみ方など、現場の方から一つ一つ優しく、的確に教えていただき、参加した生徒たちにとって一回り大きく成長する素晴らしい学びの時間となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



小学部 進路学習（6月17日・18日）

小学部は、校内で「専門部体験」に挑戦しました。いつも学校を支えてくれている中学部・高等部の生徒の仕事を、今度は自分たちが引き継ぎます。放送部体験としてマイクを前に緊張しながら昼の放送原稿を読んだり、手先を使ってベルマークの仕分け整理をしたりしました。また、暑さに負けず花壇の草を抜く姿、体育館のボールの空気入れや床掃除ペットボトルの分別作業などに一生懸命励む姿が見られました。憧れの先輩たちをお手本にしながら、汗を流して「誰かの役に立つ喜び」を実感した子どもたち。この経験は、これからの学校生活への大きな自信へとつながっていくはずです。

